

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス悠		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 61
○従業者評価実施期間	2026年 1月 29日		2026年 2月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性等に応じた専門性のある支援を行っています。	・保育士・児童指導員・言語聴覚士・心理担当職員といった多職種が関わり、多様な視点で支援を実施しています。 ・同じ法人内の併設している医療機関にて行った心理検査などのアセスメント情報を収集し、支援計画や日々の活動に取り入れています	・法人内で研修会を開催したり、外部への研修機会を確保し、個々のスタッフのスキルアップを図っていきます。
2	お子様が安心感を持って通所したり、楽しんで活動に参加することができています。	・お子様それぞれの特性や得意不得意を把握し、伝え方の工夫や環境調整を行うことで、「わかる」「できる」「認められる」経験を積むことができるよう、活動プログラムを組み立てています。	・お子様の成長や変化に気がつき、ニーズに沿った活動プログラムが提供できるよう、定期的に活動内容を見直す時間を設けていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校等の関係機関との連携や、地域との交流など、地域とのつながりをもった支援・活動が不足していると考えられます。	・事業所運営において、事業所内での専門的支援や多様な活動プログラムの充実比重が置かれており、地域とのつながりの観点と、それを支援・活動として実施できる体制が不十分であると考えられます。	・保育所等訪問支援を計画的に実施していきます。そのために、事業所内での役割分担やスケジュール調整等の業務管理を行います。
2	保護者同士やきょうだい同士等、家族間の交流機会の支援が不足していると考えられます。	・日常の支援における保護者への直接的な相談・支援や、併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にて開催している家族支援プログラムの情報提供に終始していると考えられます。	・家族のニーズ、他事業所での活動事例等を参考にしながら、事業所として学習・検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス悠

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 67人

回収数 61人

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	56	3	0	2	特にご意見はありませんでした。	
	2	55	2	0	4	特にご意見はありませんでした。	
	3	55	3	0	3	特にご意見はありませんでした。	
	4	59	0	0	2	特にご意見はありませんでした。	
適切 な支 援の 提 供	5	61	0	0	0	特にご意見はありませんでした。	
	6	59	0	0	2	特にご意見はありませんでした。	
	7	61	0	0	0	いつも十分な時間を作って個別支援計画を作成して頂いてます	
	8	60	0	0	1	特にご意見はありませんでした。	
	9	59	1	0	1	特にご意見はありませんでした。	
	10	56	1	0	4	・気持ちが荒れている時なども臨機応変に対応してくれる	
	11	19	2	11	29	・交流はわかりません ・交流は求めていないので大丈夫です	現状では、地域での交流・活動の機会はありませんが、今後、ニーズを確認しながら検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	58	3	0	0	・利用日の何日前までに、欠席連絡をしないと、加算されないことを事前に知ることができませんでした。資料等読めていなかったかもしれませんが	支援の内容や、利用者負担額に関しましては、契約時や面談時に説明をさせていただきますが、より丁寧な説明を心がけます。
	13	59	0	0	2	特にご意見はありませんでした。	
	14	34	1	4	22	特にご意見はありませんでした。	ご相談に応じて、併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にて開催されている家族支援プログラムの情報提供を行っています。今後、より積極的に行っていきます。
	15	58	3	0	0	特にご意見はありませんでした。	
	16	61	0	0	0	特にご意見はありませんでした。	
	17	60	0	0	1	・とてもありがたい（気持ちに寄り添ってくれて） ・いつもありがとうございます	
	18	13	9	9	30	・保護者会もあるかどうかわかりません ・きょうだい向けは経験がないです	ご相談に応じて、併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にて開催されている家族支援プログラムの情報提供を行っています。きょうだい同士の交流の機会については、今後、ニーズを確認しながら検討していきます。
	19	51	2	1	7	・何か気になる事があれば、いつでも相談できる雰囲気ではありません	
	20	58	2	0	1	特にご意見はありませんでした。	
	21	48	2	2	9	特にご意見はありませんでした。	
22	58	0	0	3	特にご意見はありませんでした。		
23	44	2	0	15	特にご意見はありませんでした。		

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	41	0	0	20	・週1回なのであるのかわからないです	非常災害の発生に備え、避難訓練を実施しております。今後も、訓練を実施した際は、降所時や通信などを通してお伝えしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50	1	0	10	特にご意見はありませんでした。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	50	0	0	11	特にご意見はありませんでした。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	60	1	0	0	・いつも安心して、期待感を持ち通所しています。ありがとうございます	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	56	4	1	0	特にご意見はありませんでした。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	61	0	0	0	・大変満足です ・これからもお世話になりたいです。よろしくおねがいします	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 3月 31日				
放課後等デイサービス悠						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	10人の定員に対し、法令に遵守したスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	10人の定員に対し、基準を上回るスタッフ5名で、効果的かつ細やかな支援が可能となっています。	個別での対応が望ましい状況が複数発生する時もあるため、場合に応じて対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	玄関前に階段の手すりやスロープを設置しています。活動時には、スケジュール表を掲示したり、活動ごとに部屋を分けて構造化しています。	防火扉が出入り口となっているので、開け締めの際には注意が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動終了後は、清掃を行っています。活動内容や参加人数に合わせてその日使用する支援室を使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個別の場所や部屋が使用できるようになっています。	個別での対応が望ましい状況が複数発生する時もあるため、場合に応じて対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的ミーティングを行い、支援計画の作成から見直しまでを行ったり、業務効率化について話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者アンケートを実施し、結果を職員間で共有し改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	活動後や、ミーティングで話し合い、共有したり、児童発達支援管理責任者との個別の面談の中で各職員の意見を聞く機会を設け、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現時点では行っていませんが、今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修を受講する機会を設けたり、法人内で研修を開催しています。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	インターネットにて支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にてフォーマルアセスメントを、事業所では行動観察等のインフォーマルアセスメントを行い、個別支援計画に反映させています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者を含めて、職員全員でお子さんの支援について話し合ったり、共有する場を定期的に設けた上で、個別支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	活動前の打ち合わせや、定期的なミーティングの場で、個別支援計画書に基づいて、療育中の配慮事項や工夫して関わりたい点を話し合っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にてフォーマルアセスメントを、事業所では行動観察等のインフォーマルアセスメントを行い、個別支援計画に反映させています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	計画書には各項目を反映させた目標と支援内容を記載しています。療育中の環境設定や職員の関わりを具体的に記載し、保護者の方へご説明しています。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	遊びやSSTの内容を全職員で検討し、各専門分野から意見を出し合いプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	お子様の状態や発達の度合いに合わせてながら、活動プログラムを適宜変更する等、固定化しないよう配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	その日の状態に応じて個別活動を行う等の配慮をし、個別支援計画にも反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日のミーティングの他に、週に1回ミーティングの時間を確保し、支援内容や役割分担について密に確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後には、活動内で気づいた点を職員間で話し合い、翌日のミーティングで共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	その日の状態や行動等を細やかに記録すると共に、どの職員も見ることが出来る環境を整えています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	最長6ヶ月での計画を基本としていますが、支援の形態や状態像が大きく変化した際は、ミーティング内で情報を共有し必要に応じて見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	様々な活動内容を準備し、お子様の状態や希望に合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動の大枠は設定していますが、活動の中でお子様自身で選ぶ・決める機会が生まれるよう工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	普段一番長く接している職員が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じて、お子様の様子について、医療や相談支援事業所と情報を共有しています。また、保護者様からの意向があれば、保育所等訪問支援により、学校との情報共有を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	保護者様からの意向があれば、保育所等訪問支援により、学校との情報共有を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	併設のときわ発達支援センター（児童発達支援事業）利用児が継続して当事業所の利用を希望するケースが多いため、情報共有は密に行っています。その他の事業所との連携は、主に相談支援事業所を介して行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	相談支援事業所こすもすと連携し、円滑にサービスが移行するよう、情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	ときわ発達支援センター（児童発達支援事業）が市から委託されて開催している研修会への参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		現状では地域の他のお子さんとの交流の機会は設けていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	現時点では、参加することができていませんが、参加に向けて検討していきます。併設のときわ発達支援センター（児童発達支援事業）の職員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎の際保護者の方に、様子の確認やその日の状況をお伝えしていますが、十分に様子を伝えられない時には、必要に応じて電話連絡等で情報の共有を図るとともに、面談の機会を設けています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ご相談に応じて、併設しているときわ子ども発達センター（児童精神科）にて開催されている家族支援プログラムの情報提供を行っています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	ご契約時に説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	お子様の療育中の様子を汲んで活動参加の仕方を都度相談したり、保護者の方とは日々の療育の活動報告時や面談といった直接のやりとりの中で、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画の説明時には、保護者の方、職員ともに内容を確認し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	児童発達支援管理責任者の指導の下、すべての職員が保護者からの相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		併設しているときわこども発達センター（児童精神科）にて開催されている家族支援プログラムや、保護者を対象とした勉強会がご案内しているものの、交流を目的とした機会は企画できていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	重要事項説明書に法人内の苦情受付担当者や第三者委員を明記し、苦情があった際は速やかに対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月に1回、前月の活動内容や連絡事項を記載したお便りを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	契約書に個人情報の取り扱いを明記すると共に、お子様の写真を通信等へ掲載して良いか保護者の方へ確認しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	個別支援計画や制度等の説明をする際は、言葉のみの情報にならないよう、図やイラストを用いて説明しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		現状、地域住民を招待する等の行事は開催できていません。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルについて、契約時に保護者の方へご説明しています。	マニュアルをもとに、有事に職員間でどのように動くのかをシミュレーションする機会を設けることを検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に聞き取りを行い、お子様への対応について保護者様と情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	医師の指示書や保護者の方からの聞き取りによって、提供するメニューを調整しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成し、研修を受講したり、訓練を行った上で支援にあたっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全計画に基づいて、避難訓練を行い、その内容を保護者の方へ通信等でお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットはミーティングで共有すると共に、報告書を作成しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止委員会を設置し、虐待防止に務めるとともに、研修会を開催し、適切な対応を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	やむを得ず身体拘束を行う場合があると想定される場合は、保護者の方からの了承を得た上で、個別支援計画書に記載しています。		